

お久しぶりです
& 初めまして。



副幹事長
増田眞里

Masuda Mari (46期)

4月末になっても気温が乱高下する日が続きますが、お元気でしょうか。

私平成28年度の副幹事長を仰せつかりました、46期の増田眞里と申します。

副幹事長の中で期が一番上になってしまいますので「筆頭副幹事長」だとか単に「筆頭」と呼ばれることがあり、名ばかりで申し訳ありません。会派によっては、「筆頭幹事」が幹事長に匹敵し、あとは単に幹事というところもあるそうですが友新会では、2番目が「筆頭」です。

若手の皆様には「見たことない顔だなあ」と思われている方も多いかと思います。

実は、8年前、一人娘に心臓疾患があることが判明したので「よもやよもや」の杞憂から、念のため、次年度以降すべての「副委員長」及び修習委員など、会合への出席がマストな地位はいったん全部退かせていただいていた。4年前からは、今度は実母の状態が悪く(身体は元気なんですけど悪い人が入ってきて物を盗るとの思い込みのためなかなか外出できない)、毎週1回私が出しや掃除をする羽目になり、友新会には引続きご無沙汰しっぱなしでありました。

ところが、ここへ来ておかげさまで娘は「完治」、実母は「症状固定」状態で、副幹事長をお引受けすることになりました。

8年も経って帰って参りますと、友新会も会員数がほぼ倍増し、半数近くの方が、登録から10年ちょっとの方たち、とかなり景色が違ってきます。

針原執行部は、かような人口比の変化に対応し、「新人を友とする」という「友新」の名の通り、若い会員にたくさん参加していただけるような工夫を、針原幹事長のもと一丸となって、いろいろ凝らして参りたいと思っております。

さいわい、不慣れな筆頭の代わりに、ITに強い山岸正和副幹事長、しっかり者の元氏成保副幹事長が会計担当でいてくれます。東川陽一副幹事長も高槻からおいでなのにフットワークがなかなか軽く、また山中章三副幹事長の議事録作成の速さは天下一品。このように優秀な副幹事長が見事にそろっております。殊に、従来「筆頭」の重要な仕事だとされてきた会員異動の把握については、友新会名簿を大阪弁護士会名簿からマクロ的に把握するIT革命(?)を起こされた前年度川添副幹事長から庶務1のDNAと技術を承継している山岸副幹事長にお任せ状態でありまして、ありがとうございます。

これから会合でお会いする皆様の顔と名前は、徐々に覚えていきたいと思っております。

1年間どうかよろしくお願いたします。